

# キャリアアッププログラム2017（1学期）講座シラバス

【エントリー科目】

科目名	国際経済入門	
副題	日経新聞をビジネスに活用したいあなたのために	
受講対象者	毎日のように日経新聞の紙面を踊る、国際経済にかかわる用語。知っているようでよくわからない、いまさら人に聞けないけど本を読んでもよくわからない、あらためて学びなおしたい、という人のための講座です。	
講座概要	現代のようなグローバル経済の中、日本国内の経済問題は国際経済問題でもある。日本経済新聞紙上のキーワードから、まずその用語の経済学的な意味と背景について説明します。その後、新聞記事全体を、経済学的な視点から体系的に読み解いていきます。	
到達目標	①日本経済新聞の見出しだけで、国際経済ニュースの内容がわかるようになる。 ②国内外の経済問題を、体系的に把握できるようになる。	
授業計画 および開講日	第1回 5/25(木)	円高・円安～日本経済にとって円高は悪いことで、円安が良いの？
	第2回 6/1(木)	国際収支～貿易収支の赤字は大変なこと？経常収支って何？
	第3回 6/8(木)	WTO、FTA、NAFTA、TPP～トランプ政権誕生で頻繁に出てくるその頭文字。いったい、どのような違いがあるの？
	第4回 6/15(木)	外国為替レート～よく批判される元安、円安、為替レートって思い通りに動かせるの？
	第5回 6/22(木)	外貨準備～外貨準備が多いとお金持ち国の証拠？増えたり減ったりする要因は何？
	第6回 6/29(木)	日本経済にとって、いま注目すべき国際経済ニュースは何？
授業の形式	座学	
授業の進め方	毎回の講義でキーワードが含まれた日本経済新聞の記事を用意します。上記の授業内容については、経済状況(新聞紙面の内容)により、順番やキーワードが変わることがあります	
教材などの追加負担	教材の負担はありません。	
受講者へのメッセージ	講義の途中でも、遠慮なく素朴な疑問をぶつけてください。	
講師紹介	<p><b>野北 晴子 (のきた はるこ) 経済学部 経済学科 教授 経済学修士</b></p> <p>佐賀県生まれ。1986年佐賀大学経済学部卒業、89年広島経済大学大学院経済学研究科博士課程前期課程修了、1993年同大学院経済学研究科博士課程後期満期退学、90年広島経済大学助手、94年講師、01年助教授を経て、07年より現職。現在の研究テーマは、ASEAN諸国における日本企業の動向と日本経済への影響。”</p>	